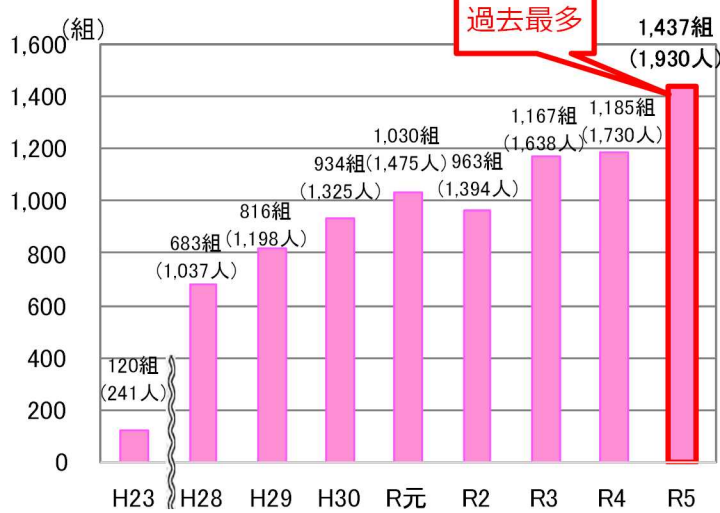
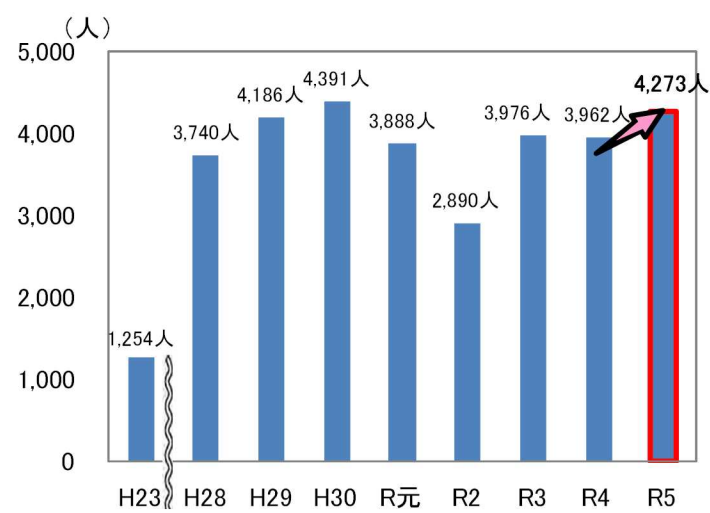


[表1]移住者数の推移

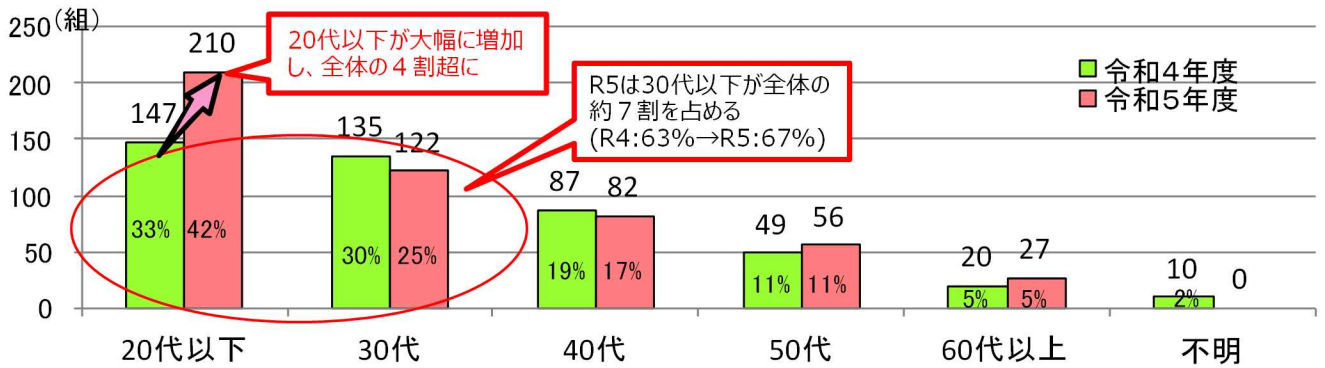


[表2]移住相談者数の推移



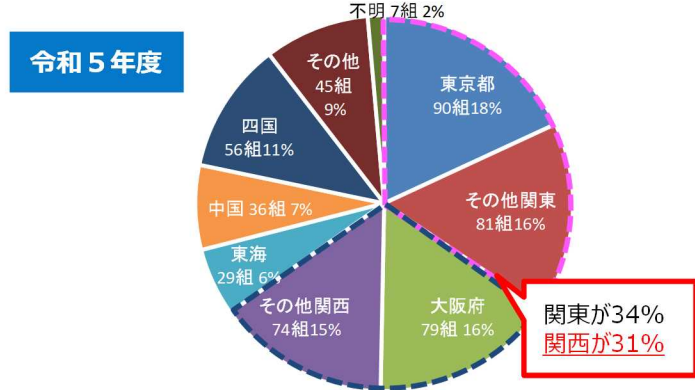
[表3]年代別の移住者数

※令和5年度に県が把握した497組、令和4年度に県が把握した448組の実績(代表者の年代)

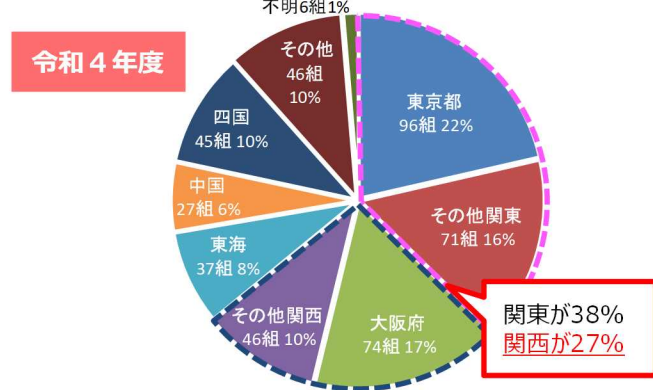


[表4]移住前住所地

※令和5年度に県が把握した移住者497組の実績

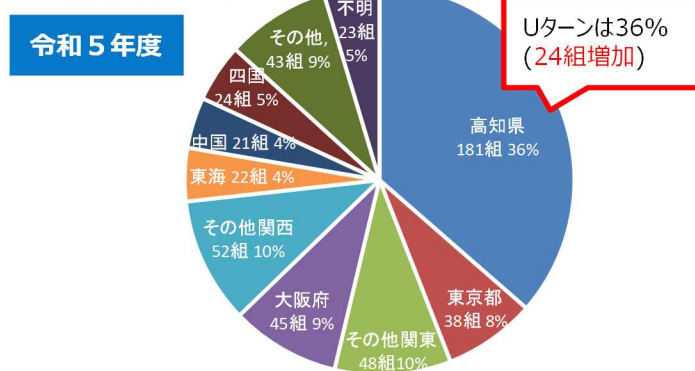


※令和4年度に県が把握した移住者448組の実績

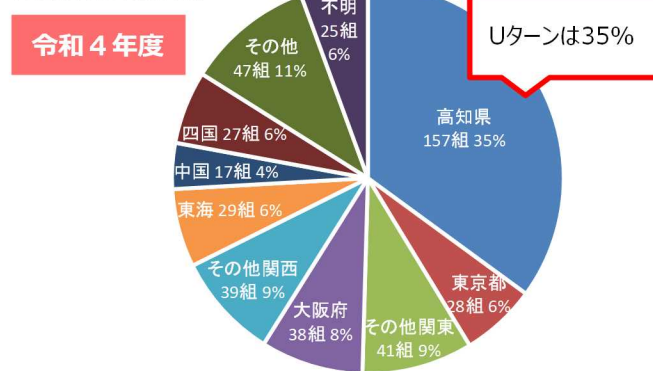


[表5]移住者の出身地

※令和5年度に県が把握した移住者497組の実績(代表者の出身地)



※令和4年度に県が把握した移住者448組の実績(代表者の出身地)

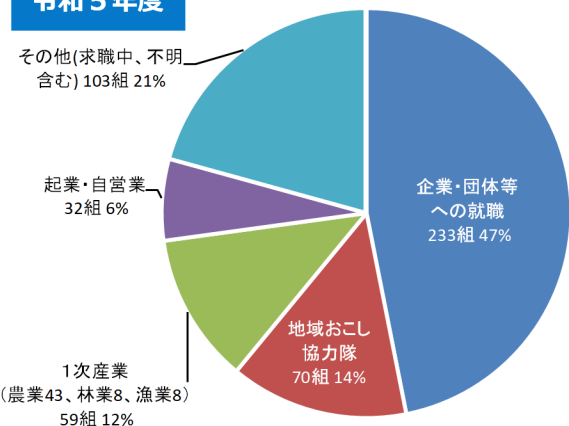


# [表6] 移住者の就業等の状況

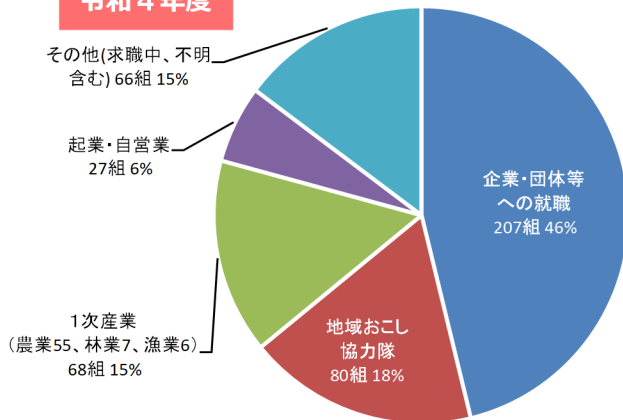
※令和5年度に県が把握した移住者497組の実績  
(代表者の就業等の状況)

※令和4年度に県が把握した移住者448組の実績  
(代表者の就業等の状況)

## 令和5年度



## 令和4年度

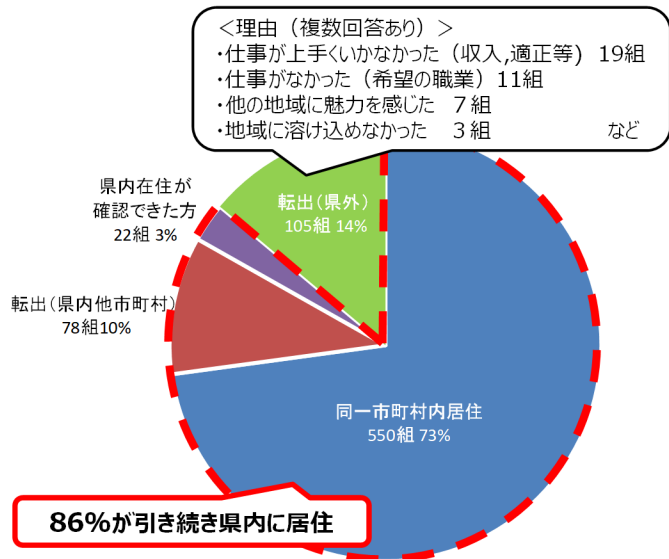


# [参考] 移住後の定着状況について (アンケート調査)

## 令和5年度調査

(令和3年度移住者)

回答数: 1,167組のうち755組 (回答率: 65%)

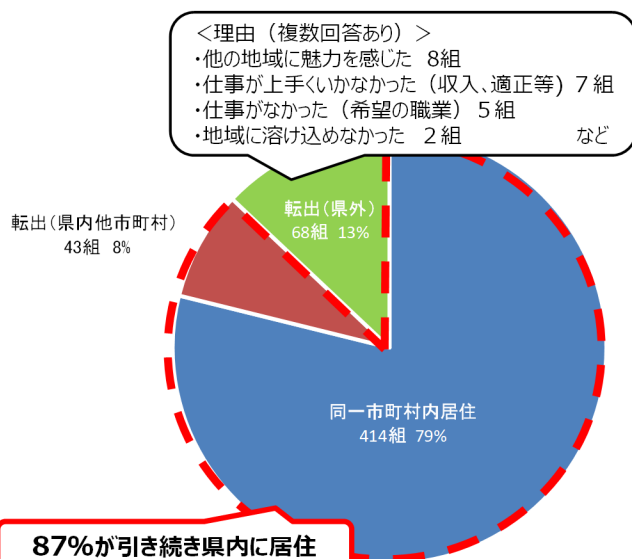


- <理由(複数回答あり)>
- ・仕事が上手くいかなかった(収入、適正等) 19組
  - ・仕事がなかった(希望の職業) 11組
  - ・他の地域に魅力を感じた 7組
  - ・地域に溶け込めなかった 3組
- など

## 令和4年度調査

(令和2年度移住者)

回答数: 963組のうち525組 (回答率: 55%)



- <理由(複数回答あり)>
- ・他の地域に魅力を感じた 8組
  - ・仕事が上手くいかなかった(収入、適正等) 7組
  - ・仕事がなかった(希望の職業) 5組
  - ・地域に溶け込めなかった 2組
- など

## 令和5年度 市町村別移住者数／対前年伸び率

市町村	移住者数	組数	人数
県計	1,437	1,437	1,930
1 高知市	520	520	715
2 四万十町	80	80	99
3 安芸市	75	75	93
4 室戸市	56	56	67
5 土佐清水市	53	53	66
6 宿毛市	45	45	58
7 南国市	43	43	80
8 土佐市	41	41	47
9 香美市	37	37	62
9 須崎市	37	37	42
その他市町村	450	450	601

市町村	対前年伸び率	組数	率	人数	率
県全体	121%	1,437	121%	1,930	112%
1 越知町	383%	23	383%	35	389%
2 三原村	350%	7	350%	9	180%
3 安田町	275%	11	275%	11	275%
4 大月町	255%	28	255%	38	271%
5 本山町	208%	25	208%	26	108%
6 須崎市	195%	37	195%	42	120%
7 田野町	182%	20	182%	29	264%
8 香美市	154%	37	154%	62	151%
9 芸西村	150%	9	150%	14	200%
9 中土佐町	150%	15	150%	20	143%
その他市町村	113%	1,225	113%	1,644	105%